



通信

HP 学校だより
R7. 1. 22
NO. 37
文責 伊藤美佳



すごいと！豊坂っ子のなわとび

今年も豊坂小学校に「なわとび」シーズンがやってきました。毎年毎年、豊坂っ子のすごさを強く感じるのがこの時期です。豊坂小学校というと、他の学校の人からは、「ナス」や「すもう」と言われることが多いですが、一番は「なわとび」かもしれません。

最近では、登校後に早く片付けをして、運動場でなわとびをする子どもたちを多く見かけます。友達と競いながら練習する子や黙々と自分の決めた目標に向かって練習する子、それぞれが楽しくなわとびをしています。一年生の時に、縄をうまく回せず、前とびすらあまり跳べなかった子が、二年生になった今、あやとびや交差とびを練習するまでに上達していました。二重跳びをあと少しで跳べるとがんばっている低学年



の子もいました。学年が上がると自分で上手な友達の跳び方を見てまねしたり、教えてもらったりして技の習得をしています。もちろん、黙々と練習している姿も見かけます。

なわとびをする子どもたちを見ていて、いいなと思うことがあります。

一つ目は、なわとびをする中で、友達とコミュニケーションをとっていることです。教えたり、教えてもらったりするとき、一緒に練習するとき、みんなで長なわを跳んでいるとき、昼放課に長なわを跳んでいるグループに入れてもらうときなど、人と人との関わりが多くなった気がします。また、異学年での交流もしやすいように感じました。

二つ目は、自分で目標を決めて、自ら練習をするところです。冬休み明けに、跳べるようになった姿を見せてくれた子が、「すごく跳べるようになったね」と言ったら「冬休みに練習したから」と教えてくれました。自分で決めた目標に向けて努力した冬休みだったのだと感心しました。やはり、成果が目に見えるので、子どもにとっては「がんばったかいがあった」を実感できるのでしょう。

三つ目は、外で遊ぶ子が増えたことです。チャレンジタイムが終わっても、そのまま外でなわとびをする子が多いです。また、ここ数日暖かいこともあります。多くの子がなわとびだけでなく、サッカーをしたり鬼ごっこをしたりして外で過ごしています。外で遊べる時に、しっかりと太陽の日を浴びて遊べるのが、心と体の健康につながります。夏が暑くて外遊びができなくなっている現在の状況を考えると、この時期にいっぱい外で遊んでほしいと願っています。

短なわ大会は、各学年で31日（金）までの学年体育の時間に行われます。どの子も自分のエントリーした種目でベストが出せることを祈っています。また、29日（水）のチャレンジタイムには、長なわ大会を行います。各学級で、種目を選択して目標回数を決定します。どの学級もみんなで声をかけ合い、目標回数を超えてほしいです。

がんばれ！豊坂っ子